２００８年　　月　　日

出雲市長
　西　尾　理　弘　殿

「出雲阿國座」の建設中止を求める署名

　大社町の出雲大社球場に建設が予定されている「出雲阿國座」（仮称）は、その計画が明らかになるに連れ、事業の規模や内容に疑問と不安の声が高まっています。総事業費は４２億円にまでふくれ上がり、示された収支計画も実現性に乏しく不透明なものです。市民には財政難といって、ごみ袋の値上げや市営住宅の駐車場有料化、国民健康保険料の値上げ、各種の補助金の削減など、多くの負担増を強いています。この一方で、出雲阿國座の建設は「聖域」化し、特別扱いするなど、到底理解できるものではありません。
　市民の貴重な税金は、福祉、介護、医療、子育て、生活密着型の公共事業など、市民生活の充実のために使うべきです。
　つきましては、下記事項について要望いたします。

１．予定されている「出雲阿國座」建設計画は、ただちに中止すること
２．市民の税金は、福祉、介護、医療、子育てなど、市民生活に役立つものに使用すること

氏　　名	住　　所

取扱い団体／日本共産党出雲市委員会（出雲市塩冶有原町６－２９／電話０８５３－２２－４０３１）

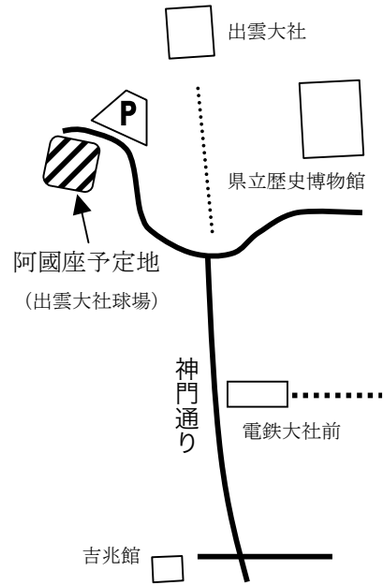
市民は望んでいない！

日本共産党

42億円劇場「出雲阿國座」は中止を

大社町の神門通り

建設予定地（出雲大社球場）



■ふくらむ事業費と不透明な収支計画

　当初２０億円から３０億円程度とされてきた事業費はなんと４２億円にまで拡大。当初赤字だった収支計画は、このほど黒字に。しかし、その事業内容の実現性は疑わしく、不信と不安は、ますます募るばかりです。

■市民のくらしは大変

　物価の上昇でただでさえ苦しいなか、固定資産税、国民健康保険料、ごみ袋の値上げ、市営住宅駐車場の有料化など、市民にはあいついで負担増が押し寄せています。

■市民の声で行政も議会もうごく

　マスコミも「住民無視？出雲阿國座」（テレビ朝日）「市議会で慎重論が高まってきた」（中央新報）などと特集を組んで大きく報道しています。「反対は一部」と譲らなかった西尾市長も「全市民の理解を得る努力をしなければならないと痛感している」と述べ、開館の「１年延期」を打ち出さざるを得ませんでした。いまだ建設に固執していますが、住民の声で確実に市政は動いています。

市民からの批判が高まっている「出雲阿國座」。完成イメージ図はできても市民の理解は進まない

07.12.26

「阿国座」建設に慎重論

出雲市議会

費用増、収支は赤字

賛成派も「市民合意を」

ニュース追跡

マスコミも世論の高まりと議会の変化を大きく報道（山陰中央新報０７年１２月２６付）

まちづくりや文化・観光振興は住民参加ですすめましょう